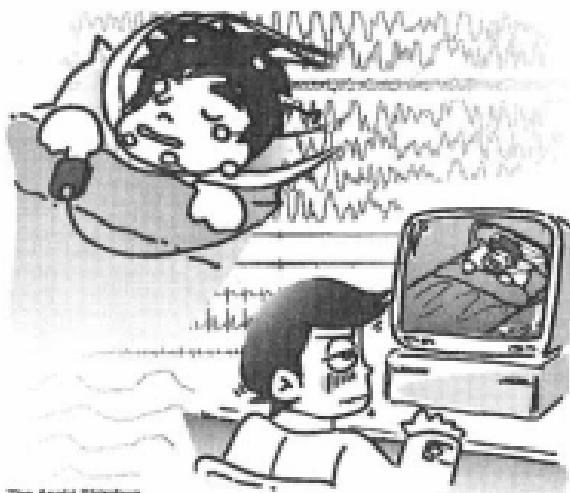


いかに睡眠が大切か、また機械的に睡眠が不足する以上日常生活を支障を来たすならば、睡眠研究者が以上のことはかなり前の段階でやめた。しかし、医療としての睡眠研究は、その知識と技術を実践する以前には、医学上は進歩しないのである。そのため睡眠研究者たるもののが自分の睡眠を間違つて記録するなどして、睡眠研究者からの常識を話しても理解力のない人には理解しない。

眼って、元気に



サーを行ひ、頭部を中心す、当然、夜の仕事をな
とした生体の電気極め
る。

JHUのある方は、数回同じ記録が取られる。長い紙に複数回書いてある。あるのが見えた途端があるたれ。

ないので、結局、龍夜して星の仕事に入りし、午後には半分眠りそうになりながら働き続けるのだ。

睡眠の場合は、むづく
大きい30枚幅の紙に十数
種類の波が記録され、一
晩ともなると記録紙の長
さは300㍍近くに達
し、折れたまま紙の
厚さは10㌢以上にもな
り、重くて運送のにも一
苦労する。

今は機械も進歩し
かなりの部分を機械に
任せられるようになつ
た。が、それでもむづく
ら生活をとどめなければならないのは、夜、世界
が絶対うたたね中で、自分
一人が眠りの秘密を見て
いるという不思議な興

記録中止取扱いの様子を觀察して、返行

卷之三